

2024.3.24 第1回所沢ごちゃまぜの会

一人ひとりの働きたいをカタチに ～協同労働という働き方

労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団
森のとうふ屋さんの手づくり菓子工房

笠原 壽廣、須賀 貴子



団体紹介

- 労働者協同組合ワーカーズ・コープセンター事業団

「協同労働」とは…働く人が出資し、経営し、話し合いを基礎にする働き方
働き方を通じた人の成長・発達を最大の価値 としています

- 埼玉西部地域福祉事業所

- 森の102工房（中富）
 - 森の102工房狭山ヶ丘店（東狭山ヶ丘）
 - 森のとうふ屋さんの手づくり菓子工房LABO（上新井・西所沢駅）
 - 森のとうふ屋さんの手づくり菓子工房conomi（上新井・西所沢駅）
- <事業> 豆腐製造・販売／菓子製造・販売、農業、事務作業（就労B型）
<就労者数> 61名（組合員 28名、就労B 33名）



事業所立ち上げの経緯

2012年7月 森の102（とうふ）工房

障害の有無問わず誰もが働ける職場づくり

地元のとうふ屋の継業×就労支援

2015年10月 森のとうふ屋さんの手づくり菓子工房（就労継続支援B型）

2018年1月 森の102工房狭山ヶ丘店

2023年4月 森のとうふ屋さんの手づくり菓子工房conomi（移転）

2024年1月 森のとうふ屋さんの手づくり菓子工房LABO（リニューアルオープン）

○一人ひとりの“働きたい”をカタチに

○働く者すべてが主人公、労働の主体

○支援する-されるの関係ではなく、ともに働く仲間

○ひとりじゃないと思える地域の居場所



農業

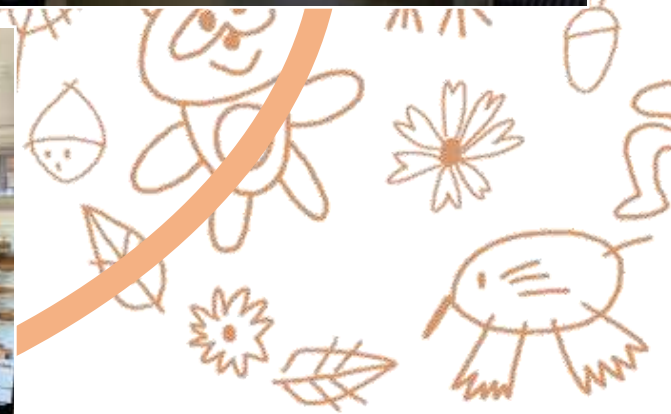


とうふ・湯葉製造

菓子製造・販売



落ち葉掃き (堆肥づくり)



conomi

仲間から見えてくる困りごと

- 笠原さんから
障障介護の現状 と これからやりたいこと



事業所の課題

< 運営面での課題 >

- ① 販路・営業力
- ② ブランド化・デザイン力
- ③ ネットワーク力

< 制度上の課題 >

“ともに働く・ともに働く仲間”

⇒ 朝礼で仕事の選択、全就労者による運営会議、仕事おこし会議、学習会の実施

• 制度は分断させる

普通学級 - 特別支援学級（学校） / 障害者 - 健常者 / 利用者 - 職員
給与 - 工賃 等々 言葉一つとっても分断をうむ

• 制度の枠に当てはまらないと、働けない、生活できない

⇒ 生きることや労働の価値は変わらない（等しい）

だからこそ、ともに学ぶ、ともに遊ぶ、ともに食べる、ともにつくる・・・・

“ともに”の経験を地域でつくっていききたい



conomi